

題 言

我等のフウバー氏

遂に大統領に當選す

大正十四年初頭、創刊第一號の工事畫報に於て技術界の人格的第一人者としてフウバー氏に對し我等衷心の敬意を表した。

其後フウバー氏の技術的手腕は商務卿として能く米國をして世界第一の富盛國たらしめ同時に世界人類に對する氏の公益增進の信念は益々米國民の信任を厚からしめた。而して今回遂に米國民絶對多數の信任を以て共和黨の大統領に當選した。我等は數年前既に氏の今日あるを豫感したものである。

技術的經綸を要するは唯米國のみではなく我國の如きは最も其必要を感するものである國情を異にするとは云へ我等また邦家の爲めに一層の努力を要するものがある。

混凝土施工上の偉大なる發見

九大の吉田徳次郎博士は十月二十日日本ボルトランドセメント業技術會に於て最近の一研究を發表されたが、何時も乍ら同博士の研究が實地工事の問題に觸れてゐるのは嬉しい事である。

混凝土の施工は實地の工事にムラのあるものは他に少い、水加減、練加減等は現在一通り注意され、其他配合の割合、配合材料の性質等は勿論重要視されてゐるが、吉田博士は練合の際の材料投入の順序が强度に及ぼす實驗を發表された。

吉田博士實驗の結果は何れ學會誌へ發表される事と思ふが、要するに

セメントと水とを充分に接觸さす

事である。

普通の練合せは材料をミキサーに投入するに先づ砂を入れ、セメントを入れ、砂利を入れる。然して後に水を入れる。或は砂とセメントを同時に投入して後ち水を入れ砂利を入れるのであるが、此等は何れも强度不良である最も强度の良い方法はセメントと水とを最

初に練つて次に砂を入れ、砂利を入れるのである。即ちセメントを一回分宛水に溶かして置いて使用するが最も强度大である。

手練から發達した混擬土の施工法を今日も依然として其儘にミキサーに對して材料投入をしてくる事は如何にもボンヤリしてをつたわけである。

此の實驗の報告は偉大なる貢献である。

誌上視察の雄

最近の一大迅速工事として關西線木曾川橋梁工事は斯界驚異の的であつたが、木曾川工事の大設備と經驗とは次いで着手されたる揖斐川橋梁工事に於て一層の經濟的施工法を實行された。

此工事の經驗は我國の技術界に多大の寄與をなしつゝあるもので本號に蒐めたる工事寫眞は揖斐川の合理的經濟工事を見るには尙ほ不足を感する位であるが、大體に於て誌上視察の目的は達し得らるゝものと思ふ。

本年中の一大工事として揖斐川工事號を以て昭和三年掉尾の號を飾る事は工事畫報社同人の欣快である。

尙ほ同一のケーラン基礎工事が上流に着手せらるゝ筈である。來年初夏に至る迄の工事として再三迅速、經濟、合理の工法を見られるわけである。

國產品の理解

粗惡なる國產品宣傳の時期は既に過去の夢となつて今や我國の機械類は電氣工作物に依つて根本的に改善されたこと見なければならぬ

土木用機械類の如きも寧ろ電氣機器の製作發達に引ずられて幾分改善進歩したかの觀がある。

我々は過日、日立製作所の龜戸工場及び日立工場を視察して眞の國產品として満足に堪へない工作過程を實見した、斯る大設備の工場が率先して技術奉仕の優良品を製作するに於ては群少工場製作所の粗惡品も遂には改善の域に入るものと思はれる。